

下関中等教育学校について（Q & A）【令和2年度版】

1 学校に関すること

Q1 2学期制について説明してください。

A1 本校では、1年間を2つの学期に分けています。
1学期 4月～9月
2学期 10月～3月
始業式・終業式の回数や学期末の行事が少なくなり、授業時数が確保できます。

Q2 チューター制とは何ですか。

A2 1クラス35人を2集団に分けて、それぞれに担任教員（チューター）が付いて指導援助する取組です。
2人のチューターは、常に相談し合い学級経営に取り組みます。教育相談や進路指導など大変きめ細かな支援が可能です。

Q3 土曜授業がありますか？

A3 現在土曜授業はありません。学校公開や学校行事等で、土曜日が授業になることがあります。
また、後期生になると課外授業や模擬試験を土曜日に行うこともあります。

Q4 上級生とはどのような交流がありますか？

A4 本校は、1回生～6回生までの幅広い年齢集団で構成されています。
そのため、生徒会活動や学校行事も幅広い年齢集団で行うようになります。学校行事においては、先輩後輩が共に考え、先生方と協議しながら、行事を作り上げていきます。
部活動等では、「リトルティーチャー制」を取り入れ、上級生が下級生に直接指導する場面も多くあります。ダンス部や管弦楽部、演劇部などは、前期生、後期生の枠組みを超えて一緒に活動しています。

Q5 他市からの入学生は何名程度いますか？

A5 令和2年度現在、下関市以外の出身者は、山陽小野田市22名、宇部市10名、美祢市4名、萩市4名、長門市1名、山口市16名、防府市4名、光市1名、岩国市5名などとなっています。
山陽小野田市出身の生徒は、多くが自宅から通学しています。また、新山口駅周辺の駅から通学している生徒もいます。

Q6 昼食は、弁当ですか？給食ですか？

A6 前期生は、給食です。
後期生は、基本的に弁当となります。後期生の寮生は、給食か弁当かを選ぶことができます。

Q7 給食においてアレルギー対応はしていただけますか？

A7 入学前に事前調査を行い、アレルギーの対応をしていますので、必要がある場合は、調査票に御記入ください。その後、詳細な打ち合わせをいたします。

Q8 在籍生徒の男女比はどのようになっていますか？

A8 令和2年度7月1日現在、608名が在籍しています。男子が231名、女子が377名となっています。各学年とも、若干女子の人数が多い状況です。

2 学習に関すること

Q1 少人数授業について詳しく教えてください。

A1 本校では、1クラスを半分に分けるなどした少人数授業を、全学年の「数学科」と「英語科」で取り入れています。
この少人数授業は年間を通じておこないます。4回生からは、習熟度別で授業を実施し、きめ細かな指導をおこなっています。

Q2 修学スピードが速いということですが、生徒はこのスピードについていけるのでしょうか。

A2 修学スピードは県内の公立学校では、かなり早いと自負しています。
しかし、授業の中身のスピードが上がるわけではありません。例えば、前期課程の数学では、市町立中学校の1.4倍の時間を確保して授業を行うなど、授業の時数を大幅に増やし、各学年の指導事項の重なりを整理することで修学のスピードを上げています。適宜授業で復習も取り組み、定着を図っています。
このように中高一貫校の強みを生かし、後期課程においても十分な授業時数を設け、総復習する時間や受験勉強の時間を確保していきます。

Q3 英語についての学力が心配です。実際に入学して学習ついていきますか。

A3 入学後の本人の努力により、十分学習についていくことができます。
英語の授業については、少人数授業を実施し、さらにチーム・ティーチングや、ALTによる授業など、きめ細かな指導を行っています。
また、英語セミナーなど英語力強化の取組も行っています。
学習についていくためにも、他の教科と同様に『予習→授業→復習』の習慣を是非身に付けてほしいと思います。

Q4 英検取得にはどのように取り組んでいますか。

A4 「国際社会で通用する表現力・コミュニケーション能力を身に付けた人材」の育成をめざして、前期課程では英検を、後期課程ではGTECを全員受検します。
授業内での対策や、英検対策課外授業も行っています。

【目標級（英検の場合）】

学年	1回生	2回生	3回生	4・5回生	6回生
受検級	4級	3級	準2級	準2級・2級	準1級

※全生徒が最終的には2級以上を取得することをめざします。

※2級、準1級を受検する生徒については個別に指導も行います。

Q5 「最難関大進学支援プログラム」について教えてください。

A5 東京大・京都大・九州大・山口大医学部医学科などの最難関大学をめざす生徒をサポートするプログラムです。本校は、これまでも京都大・大阪大・名古屋大・九州大・山口大医学部医学科などに卒業生を送ってきました。生徒のニーズに一層応えるために組織的な取組をしています。
対象生徒は、成績と進路希望と本人の意思等によって決まります。2回生後半から主に補講や添削指導等を行います。メンバーは固定ではありません。年度の途中から加わることも可能です。

Q6 海外語学研修を含む外国語学習には、どんなものがありますか。

- A 6 以下の通りです。
- 英検・GTEC等の資格取得（全員）
 - カナダ語学研修（4回生全員）
 - 短期・長期留学（希望者、アメリカ・イギリス・オーストラリア等）
 - 英語セミナー
 - 1～3回生の総合学習「東アジア文化入門」（全員）
 - 4～6回生で「ハンゲル・中国語」（選択）
 - 韓国・中国の高校との交流
 - その他、海外（アメリカ・ドイツ）からの訪問団との交流 など

Q7 下関中等教育学校生徒の小学校時の通塾状況はどのくらいですか。

A 7 例年、80パーセント程度の生徒が塾に通って学習していました。

Q8 下関中等教育学校生徒の通塾率はどのくらいですか。

A 8 前期課程のどの学年でも、生徒の通塾率は、40パーセント前後となっています。

Q9 ALTは常駐ですか？

A 9 英語のALTは、本校には1名常駐しています。また、週2回、下関西高校に派遣されているALTが来校するようになっています。

Q10 大学等ゼミ訪問があると聞いていますが、訪問先は毎年変わるのでしょうか。医・歯・薬学科希望の場合は、どのゼミに行くのでしょうか。

A 10 ゼミ訪問の受け入れ先については、山口県内を中心に毎年、各大学等に依頼しているところです。

医・歯・薬学科希望者については、理系学部のゼミを中心に訪問します。なお、医学部医学科希望の生徒には、山口大学医学部附属病院が実施している「高校生医療体験」等に参加するよう指導しています。

Q11 国公立大学、私立大学への進学はどうやって分けていくのですか。

A 11 国公立大学、私立大学への進学は、生徒・保護者の希望等により決定していくこととなります。

AI（人工知能）など科学技術が著しく発展している中、将来は、文系・理系に関わらず、数理的な思考力や情報技術に関する知識・技能が求められます。

本校では、在学中に幅広い教科・科目を履修した上で、教育内容が充実し学費も安い国公立大学に進学することをすすめており、現在の後期課程生徒の7割以上が国公立大学への進学を希望しています。もちろん、難関私立大学進学希望者に対しても丁寧に支援していきます。

4回生から、生徒・保護者の進路希望や成績などを基に「グローバルコミュニケーションクラス」「グローバルサイエンスクラス」「プログレスクラス」に分けますが、どのクラスからも、国公立大学、私立大学への進学が可能です。

3 部活動に関すること

Q1 部活動で人気のある部活動はなんですか？

A1 すべての部活動が、積極的に一生懸命活動しています。在籍人数が多い部活動は、管弦楽部、テニス部、弓道部、陸上競技部、ダンス部、科学部などです。人数は少ないですが、野球部など大変活躍しています。

新しい大学入試制度では、学業成績に加えて、校内・校外活動の経歴も高く評価されますから、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んでほしいと考えています。

Q2 希望した部活動には、必ず入ることができますか？

A2 基本的に入部は可能です。6年間継続できる部活動を選んでいただければと思います。

Q3 下関中等教育学校にない部活・スポーツの試合出場は可能ですか？

A3 可能です。現在も、水泳・剣道など、外部で行う大会やコンクールに出場している生徒がいます。

条件を満たしていれば、校長の承認を得て参加を認めています。

4 通学に関すること

Q1 具体的な交通手段を教えてください。

A1 すべての生徒は、公共交通機関（JR・バス）または徒歩で通学しています。近隣の生徒は徒歩にて登校します。

JR利用可能な生徒は、JR下関駅までは電車、その後に彦島行きのバスで登校します。バス通学生で、最寄りのバス停からバスを乗り継ぎ登校する生徒もいます。

バスは、定期運行の路面バスの他に、スクール便を利用することができます。

Q2 スクール便はありますか。

A2 あります。下記の通りです。なお、横野方面は、JRやバスの本数が少ないため、サンデン交通に御配慮いただいています。

〈朝〉 ○横野→綾羅木→山の田→金比羅（彦島大橋経由）→老山公園口（2便）

○下関駅→ロータリー→老山公園口（2便）

○彦島営業所→（山中方面）杉田→堀越→老山公園口（1便）

〈夕〉 ○横野方面（1便）

サンデン交通の運行であり、バス代はかかりますのでご注意ください。

5 寮に関すること

Q1 寮に入りたいのですが、入ることができますか？寮費はどのくらいですか？

A1 入寮の対象者は、現住所が下関市以外（旧豊浦郡及び下関市の離島は除く）、及び旧厚狭郡山陽町以外の方です。

これ以外の方で、通学困難で入寮希望がある場合は相談に応じています。寮費については下表を参考にしてください。

【参考】 令和2年度寮費（前期生用）

項目	金額【単位：円】	備考
入寮費	10,000（年先払い）	
電気代	10,000（年先払い）	※ 過不足は年度末請求及び精算 ※ 翌年度以降は、前年度の実績により算定し、再請求及び精算
寮共益費	11,000（月払い）	
寮食費	22,000（月払い）	

Q2 寮は途中から入ることができますか？

A2 1回生入学時に入寮していただくことになります。

6 その他

Q1 下関中等教育学校の授業料、校納金について教えてください。

A1 前期課程は、授業料はかかりません。

後期課程授業料は、月額9,900円です。ただし、国の定める就学支援金の支給要件に該当する場合は、申請を行っていただくことで国から授業料相当額の就学支援金が支給されます。（他の県立高校と同様です）。

また、前期課程校納金については以下の通りです。後期課程も給食費を除いた同程度の金額です。下表を参考にしてください。

【参考】 令和2年度年度入学生 毎月納入額 ※ 家庭数徴収のため、第1子のみ徴収します。

項目	金額【単位：円】	備考
PTA会費	200	※
教育後援会費	380	※
生徒会費	1,100	全員徴収
給食費	4,600	全員徴収
教材費	5,400	全員徴収 (5月～2月徴収、年度により差異あり)
計	6,280（4月） 11,680（5～2月）	3月は精算月になります。 (約6,000円)

Q2 制服等の諸費用を教えてください。

A2 下記を参考にしてください。

【男子】

【女子】

項目	金額【単位：円】	項目	金額【単位：円】
冬ブレザー	23,780	冬ブレザー	23,000
冬ズボン	12,770	冬スカート	13,870
長袖シャツ	4,180	長袖ブラウス	4,130
ワンタッチネクタイ	2,590	リボン	1,940
ソックス	660	ハイソックス	980
半袖シャツ	4,240	半袖セーラー	6,270
夏ズボン	11,660	夏スカート	14,090
		夏スラックス ※	13,110
		冬スラックス ※	12,870
		長袖セーラー ※	7,480
		夏用ハイソックス※	820
【共通】		※ 希望者のみ	
トレシャツ	5,150	女子の夏スラックスは今年度から新規に採用しています。	
トレパン	4,350		
半袖シャツ	2,740		
ハーフパンツ	2,520		

【参考】令和2年度年度入学生

Q3 新型コロナウイルス感染症対策としてどのような対応をとっていますか？

A3

- ① 生徒は毎朝、健康観察（検温等）をして登校することになっています。発熱等の風邪症状があれば、登校は控えていただくようになります。
- ② バスや電車で通学することに不安を感じる場合もあるため、登下校については、当分の間、保護者による自家用車での送迎を認めています。
- ③ 学校内では原則としてマスク着用であることや教室の換気、教室移動後の手洗いなど、国や県のガイドラインに沿った感染症対策を行っています。また、本校は教室移動が多くあることから、手すりやドアノブ以外にも教室の机・イスの消毒を毎日行っています。
- ④ 給食は、これまで前期課程生徒全員が食堂で食べていましたが、現在は密集を避けるため、食堂で食べる学年、教室で食べる学年というように、分散して食べるようにしています。食事中的会話もしないように各教員が指導しています。
- ⑤ 部活動は、練習場所や部室が密にならないように使用するなどの対策を講じている他、対外試合等は各競技団体のガイドラインに沿って参加することになっています。
- ⑥ 寮生については、食事のとり方や入浴時の人数制限など感染防止のためのルールをつくり、感染リスクを避けて生活することを指導しています。